

自然や生き物に配慮した上西郷川が注目されています!

### 「多自然川づくり」を学ぶ研修会が上西郷川で行われました

11月12日、河川関連の業務を担当する国土交通省や自治体の職員約20人が上西郷川を訪れ、多自然川づくりに関する現場研修を受けました。

研修に参加した国土交通省の職員は、「上西郷川は人の暮らしと生き物に配慮した素晴らしい川。ここで学んだことを仕事に生かしたい」と話していました。

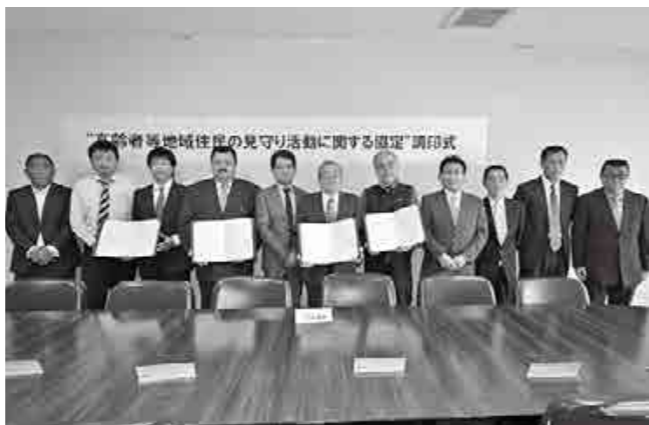
また、講師の林博徳先生(九州大学)は、「国の職員が市の川を勉強に来るのは今まで聞いたことがない。市民の皆さんと何度も議論して造った川だけに、注目されて大変うれしい」と話していました。私たちの身近な川が国や専門家から注目を浴びています!



▲川に入って実際に生き物の調査も行いました

高齢者の見守りに協力します!

### 宗像タクシー協会、市内の新聞販売店と「ひとり暮らし高齢者等の見守り活動に関する協定」を締結しました



▲市と協定を締結した新聞販売店の皆さん

10月27日、福津市と宗像市で営業しているタクシー事業者が加盟する宗像タクシー協会と、宗像市、福津市の3者で、「ひとり暮らし高齢者等の見守り活動に関する協定」を締結しました。また、11月18日には、市内の朝日新聞、毎日新聞、読売新聞の各販売店とも同様の協定を締結しました(西日本新聞販売店とは平成21年に締結済み)。

この協定では、高齢者をはじめとする地域住民が、住み慣れた地域で安全に安心して生活できるように、各事業者が日常業務の中で、生活状況の異変に気付いた場合に、速やかに関係機関に連絡することを定めています。

あなたの周りの身近な出来事や話題をお寄せください。

## まちのおだ!!

福津市が7位入賞!

### 第1回市町村対抗福岡駅伝が開催されました

第1回市町村対抗福岡駅伝が11月16日、筑後市で開催されました。この大会は、これまで行われてきた郡市対抗駅伝が今年からリニューアルしたもので、県内の60市町村から58チームが参加し、全9区間30.1kmのコースで熱戦が繰り広げられました。

競技の結果、福津市チームは見事7位に入賞し、市制10周年にふさわしい好成績をおさめました。

【総合成績】(上位のみ)

①北九州市②福岡市③筑紫野市④久留米市⑤春日市⑥古賀市⑦福津市⑧筑前町⑨志免町⑩小郡市

【個人成績】(敬称略)

- 1区 2.4km 合屋奈夏(若木台5区)8分23秒(区間17位)
- 2区 2.7km 川添篤司(花見2区)8分49秒(区間6位)
- 3区 5.0km 牧野正吾(日時野1区)15分23秒(区間9位)
- 4区 2.3km 國武野の花(若木台2区)7分45秒(区間6位)
- 5区 2.7km 井田真太郎(若木台6区)8分17秒(区間8位)
- 6区 5.0km 花田拓洋(五反田区)16分24秒(区間16位)
- 7区 2.3km 國武颯太(若木台2区)6分57秒(区間12位)
- 8区 2.7km 五通悠衣(天神町区)9分45秒(区間6位)
- 9区 5.0km 遠藤真志(花見1区)17分6秒(区間19位)



▲福津市から出場した9選手と阿部清則監督(後列右)



▲力走を見せる國武野の花さん(左)と遠藤真志さん(右)

## 市民広報 ボランティア

### 第3回木ごころ工房展



11月5日から17日まで津屋崎千軒なごみで青山正英さん(宗像市)の「第3回木ごころ工房展」が開催されました。「木が好き。書が好き。」という青山さんは、菓子店の木製看板などを各地で撮影し、学習教材として木工を学んでいます。「心」という言葉を大切に「気持ちが伝わるように分かりやすい字を彫ったり書いたりしています」と優しい思いで制作。木彫りにペイントした壁掛けをはじめ、心を込めた作品およそ100点が展示され、青山さんのお話と共に作品を楽しんだ心穏やかなひとときを過ごしました。【櫻井紀子】

### 芸術文化のつどい



11月23日、カメラホールで「第22回ふくおか県民文化祭2014福岡」ブロック(糟屋地区・宗像市・福津市)芸術文化のつどい」が開催されました。

日頃、一生懸命に練習した成果を披露する場で、日舞、フラダンス、太極拳、合唱など、さまざまな分野での発表会でした。

3市7町の文化のつどいであり、質の高い演目に観客も大きな拍手を送っていました。

【吉村邦夫】

### 花いっぱい運動



大和町商工連合会では、年末年始の行事の一環として、道行く人たちに安らぎと目の保養、商店街の活性化を目的に「花いっぱい運動」を展開しています。

取材した11月14日、あいにくの小雨の中、およそ20人の会員がビオラとシクラメンのプランター130個を、大和町交差点を中心に四方およそ300メートルの範囲に配分して配置しました。

作業をしていると、通り掛かった人がさっそく「きれいになりましたね」と声を掛けていました。

【山本武利】

### 第10回ふれあいまつり



11月8日、上西郷小学校で第10回ふれあいまつりが開催されました。福岡東中学校プラスバンドの演奏や上西郷幼稚園・上西郷小学校の子どもたちの歌、津屋崎少年少女合唱団の美しい歌声が体育館いっぱいに響きます。演奏が1曲終わるたびに大きな拍手が送られていました。

お楽しみのお昼の食事では、食券を買って好きなコーナーへ。玄関前の広場はお腹をすかせた人々でいっぱい。人気の焼きそば、カレーライス、米粉パンはすぐに完売。おいしい食事に大人も子どもも大満足でにぎやかなお昼でした。【福岡信一】

みんな大好き!  
わが家の宝



みつぎ りゅうたろう  
三次 竜太郎ちゃん  
平成25年11月6日生

花見3区

竜太郎、1歳の誕生日おめでとう。  
あなたの誕生が、改めて命の素晴らしさを教えてくれました!  
これから元気に育ってね。ずっと大好きだよ!

よしだ しゅんすけ  
(左) 吉田 旬佑ちゃん  
平成25年12月19日生

よしだ こうき  
(中央) 吉田 巨希ちゃん  
平成21年5月22日生

よしだ けいじ  
(右) 吉田 啓志ちゃん  
平成19年5月6日生  
若木台2区



電車が大好きな3兄弟です。  
旬ちゃん1歳のお誕生日おめでとう!

■ 畦町の自然の豊かさを再発見

■ 畦町で「みずがめの郷バードウォッチング」がありました



▲鳥の名前や生態などを講師の板谷晋嗣さん(右から2番目)が詳しく説明してくれました

12月7日、畦町で唐津街道畦町宿保存会主催のバードウォッチングが開催され、福津市や宗像市の市民、学生などおよそ20人が参加しました。

畦町公民館に集合した参加者は、みずがめの郷までのフットパスを歩きながら、時折足を止めて鳥の鳴き声などを頼りにその姿を探します。小さくて見つけにくい鳥は、講師の先生の指し示す方向に双眼鏡を向けると姿を捉えることができました。2時間ほどでヒヨドリやメジロ、アオサギ、カワセミ、バンなど25種類近くの鳥を見ることができ、畦町の自然豊かな景観の素晴らしさを再発見しました。

■ あなたは「自分らしく生きてきた」と言えますか?

■ 人権講演会がありました

12月の人権週間に合わせて12月6日、市中央公民館で人権講演会がありました。

講師の吉永みち子さんは、日本初の女性競馬新聞記者やノンフィクション作家などの経歴の持ち主です。講演では、自分らしく生きようとする吉永さんが、社会や家族の理解を得られず苦労した体験談を交えながら、自分らしく生きることの難しさや大切さについて話されました。

「人権は与えられるものではなく、私たちが守り育てていけないといけない」と締めくくると、会場からは大きな拍手が送られました。



▲「自分らしく生きる」を演題に講演する吉永みち子さん

■ 干潟で見つけた小さな秋

■ ハマツナの観察会がありました



▲干潟などに自生するハマツナは秋に紅葉する珍しい植物です

11月23日、津屋崎干潟で干潟みまもり隊による干潟観察会が開催されました。

『海の紅葉』をテーマに、津屋崎干潟に自生するハマツナや干潟の生き物、冬鳥などを観察しました。ハマツナは紅葉した後、枯れて小さな黒い種を残します。観察会ではハマツナの紅葉と共に、種も観察することができました。

参加した人たちは、干潟に紅葉する植物があることに驚いていました。現在は枯れていますが、干潟にはたくさん冬鳥もやってくるので、一度見に行ってみるのも面白いと思います。

市民広報  
ボランティア

■ ハワイ沖で漁獲したメバチマグロ

■ 福岡県立水産高等学校の生徒がマグロを実践販売



▲用意したマグロは飛ぶように売れていました

水産高校の生徒が実習船「海友丸」に乗船し、ハワイ沖で漁獲したメバチマグロを同校横の市魚センターで販売しました。実習船は毎年出航していますが、これまで漁獲したマグロは魚市場で他のマグロと一緒に流通し、生徒たちは漁獲、加工、流通、販売までの過程を学ぶことができませんでした。平成26年からは、宗像漁業協同組合津屋崎支所の協力により、その水産業の全体を学ぶ機会を得ることができました。

販売を開始した11月22日と23日の2日間は、遠洋航海を終えた生徒も駆けつけ、お客さんにマグロの切り身やネギト口を直接手渡しました。

■ 作品を間近に見られました

■ 福津ぷらり市が開催されました

12月5日から7日にかけて、イオンモール福津で福津ぷらり市が開催されました。市内で工芸品を製作している「筑前津屋崎人形巧房」「マルティグラス」「陶芸工房夢かほこ」そして今回初出展となる「藍の家」の4つの事業者が、それぞれの自慢の品を店先に並べていました。

並べられた作品に、訪れた人たちは歩みを止めて、クリスマスにちなんだ作品や、来年の干支をかたどった作品などを眺めたり、手に取ったりしていました。また、手作り体験コーナーも設けられ、実際に来場者と作り手たちとの交流を図る場にもなり、作品をたくさんの人に知ってもらう機会になったようです。



▲福津ぷらり市を楽しむ人たち(広報ボランティア 吉村邦夫さん撮影)

■ 松林清掃・保全活動



11月18日、花見の里3丁目の松林で清掃・保全活動が行われ、福岡中学校の1・2年生の協力もあって、きれいになりました。地域の係員や市の職員、保全業者のかたが前準備として刈り込み作業などを行っていたおかげでスムーズにできたようでした。

3年生は来年卒業する記念にと、花見区のシルバーシニアクラブのかたの指導を受けながら、中学校の中庭に花植え作業を行いました。花いっぱい運動も無事に終わりました。

【徳永孝志】

■ ソバの脱穀



11月30日、神興東郷づくりの環境景観部会主催の「ソバの脱穀」がありました。

8月に種をまいて30センチほどに成長したソバを刈り、2週間ほど干して乾燥。ソバの束の穂の部分の棒で叩いたりしてソバの実を取ります。実には茎や葉なども混ざっているの、目の粗いふるいにかけた後、「唐箕」を使って細かい茎や葉を取り除きました。唐箕を初めて使ってみました。ソバの実と別のところから細かい茎や葉が出てくるのが面白かったです。昔は一家に一台あったそうですね。【西ノ原ゆき子】

誰もが安心して避難生活を送ることができるように

「災害発生時における福祉避難所の設置運営に関する協定」を結びました



▲市と協定を結んだ社会福祉法人などの皆さん

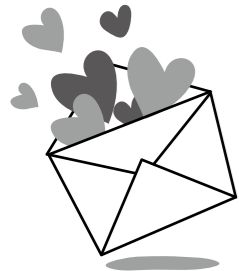
市では、災害が発生した際に、一般の避難所(学校や体育館など)では生活が困難な高齢者や障がいのあるかたが、安心して避難生活を送ることができるよう、福祉避難所を指定する取り組みを進めています。

11月20日、市は、福祉避難所をさらに充実させるため、市内の7社会福祉法人などと福祉避難所の協定を締結しました。これにより、市内13カ所の施設が福祉避難所として指定されました。

高齢者介護施設や障害者支援施設などを福祉避難所として利用できるようになったことで、専門的な人材・設備が整った環境の中、高齢者や障がいのあるかたも安心して避難生活を送ることができるようになりました。

市内の福祉避難所一覧

福津市中央公民館
福津市健康福祉総合センターふくとぴあ
特別養護老人ホーム 筑前顕慈園
介護老人保健施設 ナーシングケア宗像
地域密着型特別養護老人ホーム けんじえん
介護老人保健施設 水光苑
特別養護老人ホーム 津屋崎園
指定障害者支援施設 昭和学園
多機能型事業所 福間サンテラス
生活介護・日中一時支援事業所 サンドリームつやざき
共同生活介護・短期入所事業所 シーサイドヒルつやざき
共同生活介護事業所 シーサイドヒルつやざきWEST
就労継続支援B型事業所 アトリエ夢工房



おたより寄せちゃってんしゃい

自由投稿コーナー「聞いてちゃってんしゃい!ふくつ便」では、皆さんからの自由な意見・要望・談話などを投稿・紹介しています。福津市をもっと住みよく、もっと楽しくするためには皆さんの声がとても重要です。皆さんのさまざまな話をお聞かせください。お待ちしております。  
※誌面の都合により、掲載できないことがあります。

点線に沿って切り抜き、必要事項を書いて、必ず切手を貼って投稿してください。

POST CARD

8 1 1 3 2 9 3

フリガナ

◎ 氏名

◎ 年齢 歳 ◎ 性別 男・女

◎ ペンネームまたはイニシャル

※記載がない場合は、実名での記載とさせていただきます。

◎ 住所 〒

◎ 電話( ) -

福津市役所広報秘書課  
広報広聴係 行

お手数ですが  
52円切手をお貼りください

自由投稿コーナー  
聞いてちゃってんしゃい!  
ふくつ便

お問い合わせ  
福津市広報秘書課  
(福間庁舎)  
☎ 0940・43・8113

芸術分野でさまざまな賞を受賞

第27回全国健康福祉祭とちぎ大会  
美術展に福岡県代表として出品

2013福岡県シニア美術展の洋画部門で教育委員会賞を受賞した光安保子さん(宮司西区)の創作紙版画の作品が、10月に開催された第27回全国健康福祉祭とちぎ大会(ねりんピック 栃木2014)美術展に福岡県代表として出品されました。

光安さんは、市立図書館のグループ展で紙版画の作品を見てその魅力にひかれ、80歳から紙版画作品の制作を開始。初めて出品した「浜木綿」が、今回の県教育委員会賞を受賞しました。

「家族の後押しがあったからこそ受賞できた」という光安さん。「80歳からでもできるんだから誰でもできますよ」と謙虚なおっしゃっていました。

2014福岡県シニア美術展に出品した作品「ピエロ」は、朝日新聞社賞を受賞しています。光安さんの挑戦はこれからも続きます。



▲県教育委員会賞を受賞した作品「浜木綿」と光安さん

ガーデニングジャパンカップ2014で  
最優秀作品賞を受賞

10月に長崎県のハウステンボスで「ガーデニングジャパンカップ2014」が開催され、「花かご」(宮司1丁目)を営む杉島善美さんが最優秀作品賞を受賞しました。

「庭はすてきな空間であることを知ってもらおうきっかけにしたい」とガーデニングジャパンカップに出場し、2年連続の銀賞受賞を経て3年目の今年、最優秀賞を受賞。来年はガーデニングワールドカップにショーガーデン部門の日本代表としての出場が決まっています。

「見頃の花を全国各地から集めるのが大変ですが、次の大会も上位に入賞して“福津市”の名前を世界に広めます」と意気込みを力強く語ってくれました。



▲最優秀賞受賞を小山市長に報告した杉島さん

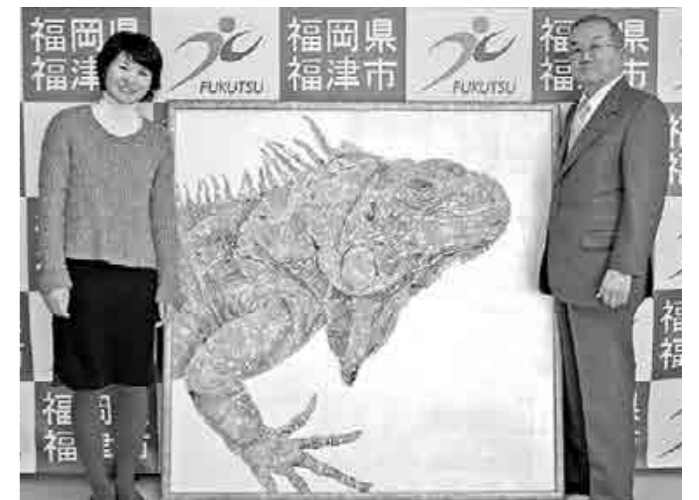
第70回福岡県美術展覧会で最高賞の  
県知事賞を受賞

平成26年度第70回福岡県美術展覧会で、廣門愛由さん(星ヶ丘区)の作品「囁き」が日本画部門で最高賞の県知事賞を受賞しました。

廣門さんは、大学生の時に日本画の魅力に触れて自らも日本画を描き始め、社会人となった今でも仕事の合間を縫って作品作りに取り組んでいます。

日本画の制作には“水干絵の具”や“岩絵の具”といった取り扱いの難しい画材を使います。イグアナの形の面白さと、肌の質感を日本画材を使って表現したいと思い、今回イグアナをモチーフに選んだそうです。絵を描くことについて「これからは生き物や自然の表情に注目し、描き続けていきたい」とおっしゃっていました。

「囁き」は、1月24日から宗像ユリックスで展示されます。皆さんぜひ足を運んでみてください。



▲県知事賞を受賞した廣門さん(左)と受賞作品「囁き」。作品の表面は、イグアナの肌の質感を意識した凹凸のある仕上がりになっています